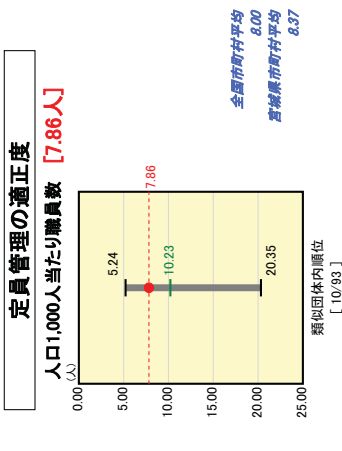
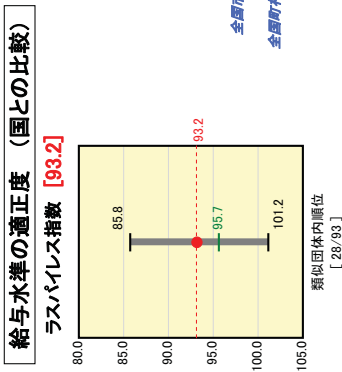
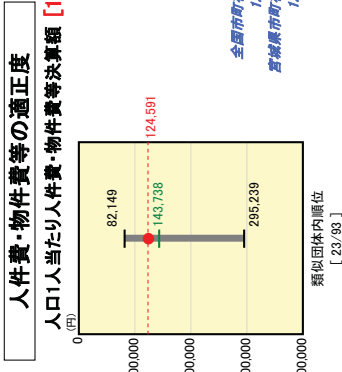
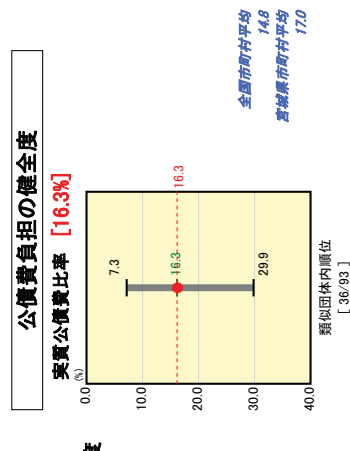
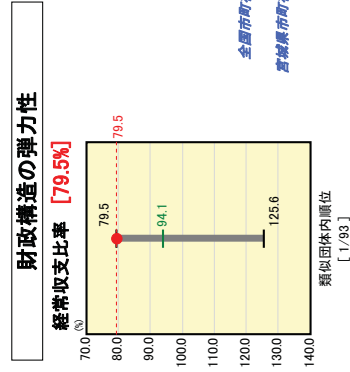
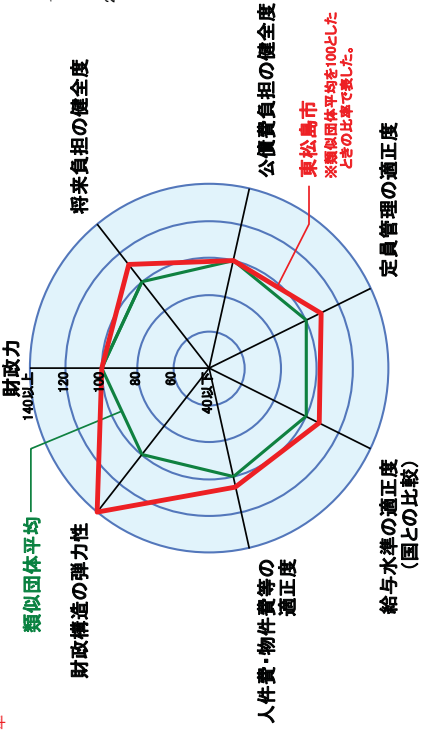
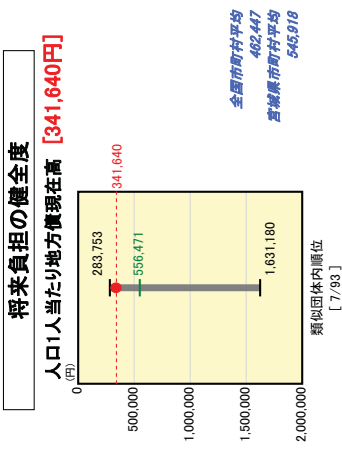
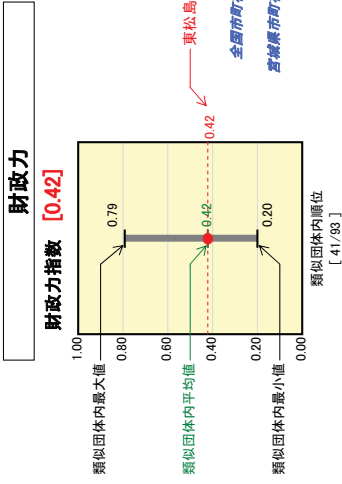


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

宮城県 東松島市

人口	43,773 人(H18.3.31現在)
面積	101.86 km ²
歳入総額	15,783,744 千円
歳出総額	15,427,506 千円
実収支	144,090 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

※人員費、物件費及び維持修繕の合計である。ただし、人員費には事業費支弁人員費を含み、退職金は含まない。

分析欄

■**財政力指数**
平成15年7月発表の宮城県北部連合地域による県の率から改善傾向にあり、類似団体平均と比較して、平均値に近づきつつあることから、今後地方債等の収入の確保に向け、交付税や国庫支出金などの確保型財政から自立した財政運営を目指す。

■**経常収支比率**
公債費の増加に伴う経常的経費の増加が想定されたことから、これまで組織改革や事務事業の見直しにより経常的経費の削減を図ってきたことにより、類似団体平均と同水準に近づいている。しかしながら、歳入の大幅な増加分が認められない平成年度の今後の収支の改善が期待されることから、公債費削減に向けた取り組みを進め、行財政改革の取組を進め、市として適正な運営体制の構築を目指す。

■**人口1人当たり人員費・物件費等決算額**
人員費・物件費及び維持修繕の合計額の人口1人当たり平均値を超過している要因は、これまで組織改革や事務事業の見直しにより削減の削減に成功した結果である。しかしながら、物件費については、類似団体平均を上回っていることから、合併による効果を引き出すこと、削減のための経費削減に必要経費の削減を図る必要がある。

■**人口1人当たり職員数**
これまで類似団体平均と比較するに下回っている。また、これまで各課手当ての見直しを行い、特種勤務手当の適正化により、給与水準の適正化を図っている。今後も、合併後の10年間に係る職員数の50人削減を目指し、適切な定員管理に努めることで、行政の効率化を図る。

■**人口1人当たり地方債現在高**
過去に実施した大規模事業に伴う地方債の償還が完了したほか、健全財政運営のため公債費の削減に努めたことから、類似団体平均と比較して、地方債の発行が減少し、影響が近年増加傾向にあるといえる。前年度は、借付債型の事業を推進することで、地方債現在高の削減に努めた。引き続き、借付債の削減を図る。

■**公債費負担の健全度**
借付債型の事業の推進により、公債費負担の健全度は向上している。また、近年増加した大規模事業の影響により、地方債償還の負担が増加傾向にあることから、今後公債費の削減に努める必要がある。

■**人口1,000人当たり職員数**
これまで、人口増加に伴う事務職員の増加に対応するため、職員を増やしてはいるものの、退職者補充などにより職員数の削減を図ったことから、類似団体平均と比較して下回っている。今後も、合併後の10年間に係る職員数の50人削減を目指し、適切な定員管理に努めることで、行政の効率化を図る。